



伸びる子は、 授業と自習の 連動性がある。



1学期平常授業が進行しています。コロナへの対応が社会全体的に緩和されてきており、当塾では引き続き、教室内換気・透明の仕切り板の設置・マスク着用指示・アルコール除菌剤の設置など、コロナ感染防止措置を継続していきます。

さて、年度初めはお問い合わせが多くなる時期でもあるのですが、今号ではこの時期によくあるお問い合わせの1つを紹介させていただきます。

それは、「難関大志望の高3生の親なのですが、英語はそちらの授業を受けていればそれで十分でしょうか？」というものです。「もちろん十分です！」と言いたいところですが、「正直、足りません。」と返答させていただいています。当塾の授業カリキュラムが不足しているわけではありませんが、ましてやその子の学力が足りていないというわけではありません。私はどなたにも尋ねられても「授業だけでは足りません。」と返答しています。これは私自身の経験則と大手予備校に勤めている同僚・先輩の話からになります。が、難関大に合格している子は、どの塾・どの予備校に通おうが必ず自習時間を多く確保しています。授業や模試を

受けることで把握できる自分の課題を、きちんと自習の中でつぶしていくのです。このサイクルができてくる子がぐんぐん成績を上げていきます。ただし、生徒によっては、また場合によっては、自習と言っても何をやったらいいのかわからないということもありますよ。ね。そういった状況を踏まえて、**当塾では、その生徒に必要な参考書や問題集をその都度お伝えしています。**例えば高3生の英語ですと、一口に英語と言っても、英語・文法・英文解釈・長文読解・英作文・リスニングなど、生徒それぞれで課題は様々です。その子の志望校も踏まえながら、おすすめのことを提示しています。

◎高校英語A
[Passive English]
(高1生対象)

◎平常授業紹介 ピックアップ

授業レベル(5段階表示)
難易度 ★★★★★
スピード ★★
学校対策度 ★★★★★
入試得点力養成 ★★★★★

高校英語の主要英文法を1年でやりきることと短文の精読(英文解釈)を丁寧に進めることが授業の柱です。高2で中長文読解、高3で志望校別対策を確実に且つたくさんこなせるように「**高校英語の強固な土台を作ろう**」という目的を持って、**骨太の英語力を養成**していきます。具体的には、英文法と英文解釈の割合を8:2〜7:3で展開しています。授業の特長としましては**小中学生時以上に、その英語が**

持っているイメージをつかんでもらうことを大切にしています。この取り組みが「丸暗記脱却」につながり、また語学の勉強にどうしてもついて回る「例外」を受け入れる土壌となります。
*その他のクラスの紹介につきましては、当塾のウェブサイトを参照ください。
●志望校判断の一助に、**塾内模試**にチャレンジしてみませんか？



★小5〜中3生は、**学力テスト**
*毎月実施(希望制)
*塾外生料金2800円

★高1〜高3生は、
①**全国高校共通テスト記述模試**
*年3〜4回実施(希望制)
高1生 4450円
高2生 4650円
高3生 5280円

②**全国高校共通テストマーク模試**
*年1〜3回実施(希望制)
高1生 4920円
高2生 5410円
高3生 5530円
※塾生料金とは異なります。

●**雷雪時代**
おいし〜と取り

●**難関大個別試験合格格力学成ガイド**
英語

●**難関国公立大**
長文読解と英作文が二本柱

●**思考力・記述力重視**

● 会話文やリスニングの
出題も

国立大の特徴は、ズバリ「記述重視」だ。客観式(選択肢式)の問題もあるが、配点が大きく、受験生間で得点差がつくのは記述問題である。読解系は下線部和訳問題と説明問題が中心。英作文は、大きく分けて和文英訳と自由英作文の2種類。自由英作文は「○○について意見を書きなさい」というシンプルなものから、イラストやグラフなどの資料に関連した問題、会話の一部分や手紙(メール)を書かせる問題などさまざまである。また、読解問題の英文の内容について意見を書かせる問題、英文の一部が日本語になつていて英訳させる問題など、**読解と英作文をリンクさせる出題が近年増加している**。この他、一部の難関大(東京大、一橋大など)ではリスニングが出題され、共通テストと比較すると非常にレベルが高い。記述式問題では、**満点答案を書ける受験生は少なく、部分点をいかに多く獲得する**かで勝負が決まる。

難関 私立大

● 長文読解と文法・語法・語彙問題が二本柱

● 長文化の傾向が強い

● 語彙力が勝負を分ける

私立大では、多くの大学が長文読解問題と文法・語法・語彙問題を出題するが、**難関大ほど後者は減少傾向**にあり、読解問題のみを出題する大学もある。とはいえ、**読解問題の設問中で間接的に文法の理解を問われることも多いので、文法の知識は不可欠**である。読解問題は、内容一致問題・空所補充問題・下線部言い換え問題が中心であり、大学ごと

にその比率が異なる。さらに、表題(タイトル)選択問題を出す大学も多い。国立大のよいうな記述問題を課す私立大もあるが、その比率は高くない。読解問題の英文の分量が多く(600〜1000語以上)、設問も多岐にわたるため、スピードが重視される傾向にあり、速く正確に読み解く力が合格への必要条件となる。文法・語法・語彙問題はもちろん、読解問題の中の空所補充や下線部言い換え問題でも**知識量が得点に直結**するので、語彙を中心に知識面を強化することが欠かせない。

合格点を突破する対策法

● 高3の1学期

語彙は全体を押さえ、文法は基礎を理解。精読力も鍛える。難関大合格のカギは、やはり語彙力。単語集を何度も反復してマスターしよう。**完全に覚えてから先に進むのではなく、不完全でもどんどん先に進み、また戻って前から順にやる**。こうして「見覚えのある単語」を増やすことで、英文中でその単語に出会ったときに定着させることができる。

● 高3の夏休み

多くの英文を読み、単語や文法など必要な知識を補強する。**夏休みの学習は読解を中心に据え、できれば1日に1長文をこなそう**。単語学習は、塗り絵を端から丁寧に塗るのではなく、全体を薄塗りする作業を繰り返すイメージだ。なお、この時期は読解問題を解く際に時間は気にしなくてよい。

● 高3の2学期〜直前期

過去問や模試を使って弱点を把握・克服し、実戦力を強化する。**共通テストや志望校の過去問を解き、弱点を把握**

し、それを日々の学習にフィードバックするとよい。これを繰り返すことで、徐々に志望校との距離を縮めていける。「まだ力不足なので過去問は解かない」という受験生がいるが、それではいつまでたっても実戦力はつかない。

1学期学習面談の
お知らせ

5月4日(木・祝)

5月26日(金)

※塾外生の方も大歓迎です。
(入試のこと、日々の勉強のことなど、ご入塾の有無に関わらずお気軽にご相談ください。)

1回の授業で大きな発見！

小5〜高3生

1週間無料体験
受付中です。

※土曜日・日曜日は、原則休校

◎お電話

月曜〜金曜日

12:30〜21:00

◎ご来塾

月曜〜金曜日

13:00〜18:00

◎メール(24時間受付)

mission@baisouan.com

ご質問・ご相談など、お気軽にお問い合わせください。

(塾長 大川忠広)



★開塾10周年特典②
2023年度中の復塾生
復塾時の初期費用無料！

*特典期限 2023年度内

★常時特典

転塾割(入塾金半額)

*併塾の方も適用できます。